

福井県におけるデジタルアーカイブの構築

～デジタルアーカイブ福井のこれまでとこれから～

福井県文書館 主任（認証アーキビスト） 長野 栄俊



概要ーデジタルアーカイブ福井の目指すものー

「デジタルアーカイブ福井」は、福井県文書館・福井県立図書館・福井県ふるさと文学館の3館のデジタルアーカイブとして、2019年4月から運用を開始したものです。これ以前にも3館が運用するシステムはありましたが、2019年から稼働した新システムでは、3館にとどまらない「福井県全体のデジタルアーカイブ」を目指し、デジタルアーカイブ福井と命名されました（以下、デジタルアーカイブは「DA」、デジタルアーカイブ福井は「DA福井」と省略）。

2024年6月現在、約90万件のメタデータ（目録データ）が登録されており、そのうち約19%にあたる約17万件については合計約220万枚の画像が公開されています（文書館内限定公開分を含む）。

登録データの内訳は、古文書約20万件、歴史的公文書約22万件、写真・絵葉書約2万件、古典籍約5千件、文学資料約4千件、県刊行物PDF版約2千件のほか、県報の見出し約7万件、新聞記事約30万件、人物文献検索7千件なども登録しています。

特色1 共同デジタルアーカイブ（県内での連携）

一般的なDAでは自館で所蔵する資料をデジタル化して公開する例がほとんどですが、DA福井は多くの機関が参加する共同DAである点に特色があります。2024年8月現在、県が8機関、市が4機関（福井市・小浜市・あわら市・坂井市）の合計12機関が参加しており、今後も増えていく予定です。また、参加機関に博物館・図書館以外の高等学校や市役所が含まれている点も他にあまり例がないものといえます。

小規模な機関が独自にDAを構築・運用するには、人的・財源的な面で大きな障壁があります。しかし、DA福井では、参加機関はメタデータ（目録）と画像データを文書館に送るだけで登録は完了し、参加機関が費用を負担する必要もありません。

特色2 大規模プラットフォームやプロジェクトとの連携

DA福井は国立国会図書館サーチと連携しており、これをつなぎ役としてジャパンサーチとも連携しています。DA福井だけで公開するよりも、大きなプラットフォームと連携することでアクセス数は大幅に増加しました。また、ジャパンサーチとの連携では、参加12機関が個別に連携機関一覧に表示されるため、各機関の認知度向上にも役立っています。

（国立公文書館ウェブサイト「他機関との横断検索」にも参加）

このほか、歴史資料に書かれた文字を現代の活字に直してデータ化するプロジェクト「みんなで翻刻」とも連携しており、登録した113点の資料の半数以上の66点が翻刻完了となりました（7,667画像中6,445画像が完了）。これにより、くずし字で書かれた資料の画像データが、検索可能なテキストデータとなり、調査研究や生涯学習に役立てられています。

特色3 オープンデータ化の推進

これまで多くの資料保存機関では、所蔵資料の書籍掲載・番組使用等の要望があった場合、事前申請により許可を出す制度をとっていました。しかし近年では、著作権保護期間の満了した資料等の画像は、申請なしで自由に使える「オープンデータ」とする動きが進んでいます。

DA福井でもオープンデータ化に力を入れており、参加機関の多くが「パブリックドメイン（著作権保護期間満了）」や「クリエイティブ・コモンズ（原作者表示）」等の表示を付けて資料画像を公開しています。オープンデータ化により、利用者側・機関側ともに書類手続き等の省力化が図られ、DA福井の資料画像が展示パネルやポスター、お菓子のパッケージに使われるなど多様な形で利用されるようになりました。

特色4 利用につなげるための工夫

DAに登録された資料のなかから、自分が見たい資料を探し出すには、それなりのスキルを要します。そこで文書館では、DA福井に登録された資料をより使いやすくするため、いくつかの取り組みを行っています。

例えば、文書館の学校支援事業の一環として、教科書の単元に準拠して地域資料を紹介する「学校向けアーカイブズガイド」を62種類作成しており、また『ふくいのアーカイブズを活用した教材集』を用いた協働授業なども行っています。

今後の課題と展望

DA福井の充実のためには、各機関が資料を撮影するための予算を確保したり、また文書館に寄せられたデータを登録したりするための人員的な配置が課題となってきます。今後も「地域のつなぎ役」として、県内の資料保存機関が持つ歴史資料の情報を取りまとめ、個々の資料のアクセス機会の向上に努めていきたいと考えています。

令和6年8月1日開催
第1回ICTセミナー

令和6年度石川県視聴覚教育協議会の活動について

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的とし、県及び市町教育委員会の視聴覚教育担当部局をもって組織され、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業等を行っています。

令和6年度の活動内容を紹介します。

令和6年度理事会・総会

令和6年度 役員一覧

会 長	山越 善耀	石川県立生涯学習センター館長	監 事	山崎 京子	野々市市
副会長	水野 香乃子	小松市	"	米澤 秀哉	宝達志水町
理 事	林 美紀	白山市	参 与	岩木 智子	石川県教育委員会生涯学習課長
"	金山 凌	かほく市	事務局長	石野 周	生学セ・学習情報グループリーダー
"	作井 英之	七尾市	事務局員	谷内 明	生学セ・学習情報グループ
"	宮森 一	穴水町	"	吉田 孝子	"
"	嵐 帆乃香	石川県教育委員会生涯学習課	"	新出 真未	"

令和6年度理事会は、令和6年5月10日（金）、石川県本多の森庁舎内の会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド方式で開催し、令和5年度事業報告・決算及び令和6年度事業計画・予算案が原案どおり承認されました。その後、令和6年度総会を文書方式で実施し、同じく原案どおり承認されました。

情報技術活用研修会

各市町において実施される情報技術活用を目的とする研修会です。

令和6年度は、次の2市町で実施されました。

実施主体	研修会名（内容）	開催時期	場 所
穴 水 町	だれでも気軽にスマホ教室	令和6年10月4日 ～令和7年3月14日	さわやか交流館ブルートほか
野々市市	アニメづくりワークショップ	令和6年8月23日	学びの杜のいちカレード

ICT セミナー

当協議会が、各市町視聴覚教育担当職員などを対象に行う研修です。

（１）「福井県におけるデジタルアーカイブの構築

～デジタルアーカイブ福井のこれまでとこれから～

日 時：令和6年8月1日（木）14:00～15:30

会 場：小松市立図書館 視聴覚室

講 師：福井県立文書館 主任 長野 栄俊 氏

参加者：11名

県や市町の文化施設等が個々に所有しているデジタルデータを、福井県文書館ホームページに集約した「デジタルアーカイブ福井」の概要と運用の具体的手法、今後の課題等について講演をいただきました。オープンデータとすることで海外にも情報発信した例も紹介され、参加者からは「とにかくやってみることの大切さがわかった」、「タイムリーな話題だった」などの声が寄せられました。



（２）「Google ツール活用基礎講座」

日 時：令和6年10月24日（木）13:30～16:30

会 場：県立生涯学習センター 教室1

講 師：Office アシスタ代表 山川 広美 氏

参加者：8名

Google が提供している Google ドライブ、Google スプレッドシート、Google フォーム等の基本操作を学びました。参加者からは、「Google 使用の足がかりになった」、「実際に操作しながら分かりやすく進めることができた」などの感想が寄せられました。



(3)「スマートフォン 動画撮影・編集の基礎 講座」

日 時：令和6年11月7日（木）10:00～16:00

会 場：県立生涯学習センター 教室1

講 師：ラックプロ株式会社 代表取締役社長 福田 敬嗣 氏

参加者：5名

スマートフォン(iPhone)で動画を撮影し、動画編集アプリ iMovie を使って映像作品を作る基本操作を学びました。参加者からは「分かりやすくて、とても役に立つ内容でした」、「思っていたよりも簡単にできたのでよかった。楽しく学ぶことができた」、「分かりやすく、また親しみやすい先生でよかった」などの感想をいただきました。



県民映像力レッジ

広く一般県民の皆さんに、映像作品制作に興味をもってもらい、ビデオの撮影・編集の技術を学んでいただく講座です。(石川県民大学校 教養講座)

日 時：令和6年8月23日（金）13:30～16:00

会 場：県立生涯学習センター 教室1

講 師：金沢学院大学芸術学部 准教授 越田 久文 氏

参加者：2名

撮影の際にビギナーが陥りやすいカメラワークやプロに近づく撮影技術について講義をいただき、その後、受講者の撮影した作品についての具体的な指導や、実際にカメラを構えての指導をいただきました。

受講された皆さんが講座の成果を発揮し、地域の映像記録に力を発揮され、多くの映像作品が制作されることを期待します。



全国大会について

第28回視聴覚教育総合全国大会・第75回放送教育研究会全国大会合同大会

令和6年度の全国大会は、オンラインにより、令和6年11月9日に開催されました。

＜生涯学習関係のワークショップ・セミナー、実践発表＞

1. ワークショップ・セミナー

「16ミリフィルム利用の延命策と終い方」

元群馬県視聴覚センター課長・元群馬大学大学院客員教授で、現在、群馬県退職校長会会長である立見康彦氏から、メーカーによる部品供給・保守が終了している状況での、16ミリフィルムの利用延命策について講演がありました。

フィルムや機器の延命のためには、ライブラリー間の連携が必要である。また、利用の延命については、利用を推奨するフィルムの広報、映画会開催、点検修理や有資格者への再講習会など、できることはまだある。

ただ、16ミリフィルムの利用促進は、視聴覚ライブラリー全体の利用促進の中で実現できるものである。GIGAスクール(学校教育)で利用している教材が著作権上非常に危うい状況にある中、視聴覚ライブラリー所蔵の教材は、DVD教材を含めて、著作権上、集団学習に安心して使用できるということについて、学校現場での理解を促進する取り組みが必要である、との提言をいただきました。

2. 実践発表「県の視聴覚教育施設の取り組みと市町村に対する支援策の状況」

(1) 新潟県立生涯学習推進センターの榎本尚志氏から、ICT推進事業について報告がありました。市町村行政職員、公民館主事・学校教職員を対象に、オンライン教育ツールやAI技術、クラウドサービスの活用などについて、ZOOM利用の際の機器の接続方法を含め、県内市町村の教育施設を支援・援助しているとのことでした。

(2) かごしま県民大学中央センターの野口豪氏から、県及び市町村の生涯学習担当職員等を対象に実施しているICT機器等を使用した「メディア研修講座」について報告がありました。①オンライン講座開催方法について、簡単な動画作成、効果的なチラシづくり等、センターを会場にした「テーマ学習型研修」、②市町村の公民館等を会場に、実際にオンライン講座やユーチューブライブ配信をやってみせ、市町村職員にICT活用を体験してもらう「アドバンス型研修」、③講座を開催する市町村に、センター職員が技術支援及び講師派遣を行なう「サポート型研修」の3つの研修を通じて、市町村独自でICTを活用した講座を実施することを目指しているとのことでした。

令和6年度（第55回）いしかわ映像作品コンテスト

共催：石川県教育委員会

後援：石川県小中学校視聴覚教育研究協議会

石川県高等学校視聴覚教育研究会

石川県社会教育協会

石川県公民館連合会

募集期間：令和6年10月1日(火)から

令和7年1月23日(木)まで

審査会は、2月5日(水)に県立生涯学習センターにて行われました。3時間に及ぶ審査の末、右のとおり各賞が決定しました。

授賞式は、3月1日(土)14:00より、石川県本多の森庁舎2階第3会議室にて行われました。

8名の出席者のもと、石川県教育委員会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会、石川県視聴覚教育協議会からの各賞のうち、出席した受賞者への賞状授与が行われました。

終了後、講評並びに最優秀賞・優秀賞受賞作品の上映を行い、式は終了しました。

受賞された皆様、おめでとうございます。



審査委員

審査委員長	越田 久文	金沢学院大学 芸術学部芸術学科准教授
審査委員	本谷 公夫	元北陸放送番組プロデューサー
〃	山越 善耀	県立生涯学習センター館長

審査結果

石川県教育委員会賞(最優秀賞)	銘菓「昭和九年」	石川県立寺井高等学校 放送部
石川県社会教育協会賞(優秀賞)	献血の大切さ	金沢市立工業高等学校 後期保健委員会
石川県公民館連合会賞(優秀賞)	ガラス スタジオ カレット Glass Studio cullet	天野 達也 (小松市)
奨励賞	YNNニュース ～金沢の未来をつなぐ～	金沢市立港中学校 放送部2年生
〃	探訪・赤瀬町と那殿 ^{なでん} 観音	小松市公民館連合会
〃	九谷焼の魅力ってナニ?!	小松市立国府小学校D

☆☆☆ 審査講評 ☆☆☆

令和6年は能登半島地震に始まり、9月の能登豪雨による水害など自然災害に見舞われた年となりました。今年度のいしかわ映像作品コンテスト18作品には、石川県内各地で復興に寄り添う姿を捉えた作品、防災意識の大切さを描いた作品に秀作が多く見られました。

最優秀賞には寺井高校放送部の『銘菓「昭和九年」』が選出されました。昭和9年に能美市を襲った水害の記憶を風化させてはならないと、和菓子にその思いを込めた店主の姿を描いた作品となっています。

優秀賞のひとつ、金沢市立工業高校後期保健委員会の「献血の大切さ」は震災、水害により能登での献血活動ができなくなったことを知った高校生たちが、校内で献血に協力する様子を描いた作品です。優秀賞2作品目は天野達也さんの「Glass Studio cullet」、群を抜く映像美でガラス職人の技が余すところなく描かれた作品となっています。

審査委員長 越田久文（金沢学院大学准教授）

===== 石川県立生涯学習センターからのお知らせ =====

石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」で動画配信中！ ぜひご覧ください。

「昭和のいしかわ」を知る 12 作品

ふるさとモット学び塾

☆「あいあいネット」へのアクセスは…



今蘇る石川の記録映画



講座ビデオ

<https://iinet.pref.ishikawa.jp/>

あいあい 石川 で 検索

お問い合わせ先 石川県立生涯学習センター学習情報グループ TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585